

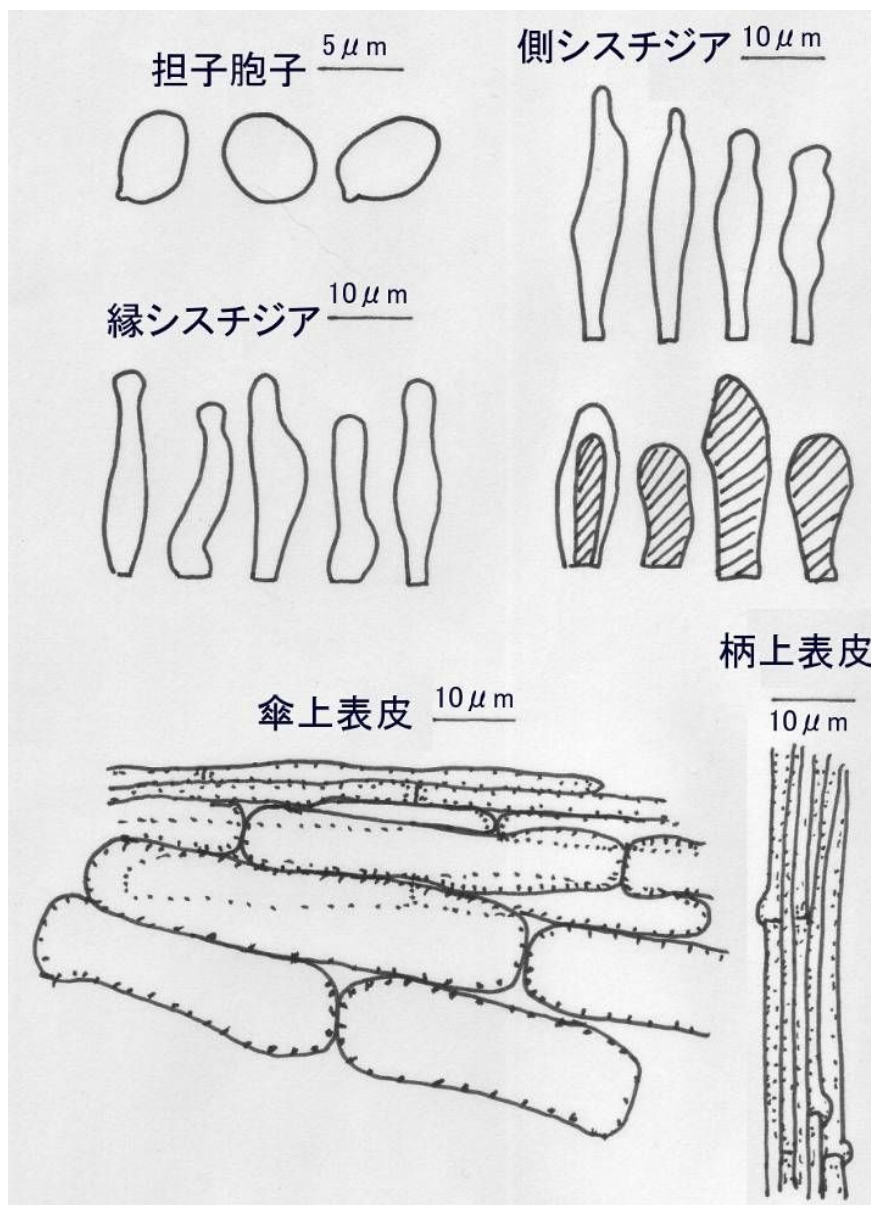
No. 0008

ハグロチャツムタケ(日本きのこ図版 No.1234)

Gymnopilus sp.







●傘は径 1.5-3.0cm, 平らな円錐形のち中高の平ら, 幼時縁は内側に巻く;表面は条線および粘性はなく, 鮮黄色の地に茶色のささくれた鱗片が中心部に付着し, 周囲では茶色の繊維状となり, 触れば褐変する.

●肉は厚さ 0.4-0.7cm, 傘・柄ともに淡黄色~茶色で切断するとしだいに茶色く変色し, 質はわりと強く, 特別な味や匂いはない.

●柄は 5.0-6.5×0.3-0.5cm, 下部にいくほど太く, 中心性, 中実~中空;表面は繊維状または裂けたような状態で, つばはなく, 上部はほとんど白色であるが下部は茶色, 触ると褐変する.

●ヒダは密, 直生~垂生, 幅 0.1-0.2cm, 鮮黄色で所々に茶色のしみがあり, 全縁.

●孢子紋は未採取

●KOH を傘・肉・ヒダ・柄にかけると茶褐色~黒色に変色する.

●孢子は楕円形~広楕円形, 大きさ 5.0-7.0×3.5-5.5 μm, 微いぼがある.

●担子器は未確認.

●子実層托実質にはクランプがあり, KOH をかけると黄色い液が滲み出る.

●縁シスチジアは群生し, 紡錘形~先が球状に膨らむ紡錘形, 大きさ 19-25×3.5-5.0 μm.

- 側シスチジアは無色～黒色と2型ある;無色のシスチジアは紡錘形～先が球状に膨らむ紡錘形, 大きさ $23-30 \times 3.8-5.0 \mu\text{m}$;黒色のシスチジアは棍棒形でときに先はやや尖り, 大きさ $15-25 \times 5.0-7.5 \mu\text{m}$, KOH で溶解する.
- 傘上表皮は平行菌糸被で上部ほど菌糸は細く, 分枝するものや立ちあがるものがある;菌糸の太さは $5-12 \mu\text{m}$;表面は黄褐色の色素を凝着する.
- 傘実質は錯綜し, 菌糸の太さは $2-7 \mu\text{m}$.
- 柄上表皮は平行菌糸被, 菌糸の太さは $2.5 \mu\text{m}$ 程度, 表面には黄褐色の色素が凝着する.
- 柄実質には赤茶色の菌糸がある.
- クランプはすべての菌糸に存在する.

採集日 2006年6月18日
採集場所 神戸市北区山田町
採集環境 広葉樹?の枯木に束生
採集者 中嶋知之
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし